



山形に避難されている方へ伝えたいメッセージ

CONTENTS

- ・一面 震災から4年 各地から追悼と復興の祈り
- ・山形県 寄稿 あいびい保育園 閉園
- ・福島県 復興へ歩む 南相馬市
- ・みんなの声 ・しあわせココロのつくりかた(31)
- ・おすすめ情報 ・レシピ ・団体紹介 ・編集部より

第59号

つながろう! ささえあおう!
復興支援プロジェクトやまがた
TEL 023-674-7311
E-mail kizuna@yamagata1.jp
発行数: 3,600部

震災から4年 各地から追悼と復興の祈り

2015年3月11日、震災から4年を迎え、山形県内の各地で東日本大震災の追悼と復興を願った式典やキャンドルナイトが行われ、多くの方が震災や原発事故からの一日も早い復興を願い、犠牲者への追悼の祈りを捧げました。



写真提供: キャンドルナイト実行委員会

鶴岡市会場

鶴岡市では、「避難者もがんばっています」という想いをこめて避難者の作品展を開催。鶴岡アートフォーラムでは手作りのキャンドルに灯りが灯されました。



写真提供: 酒田市ボランティアセンター

酒田市会場

酒田市では希望と慰霊の願いを込めた絵灯籠とキャンドルが作成・展示され、宮城県名取市閑上地区にも絵が送られました。



写真提供: 東日本大震災追悼・復興祈念事業(米沢会場)実行委員会

米沢市会場

米沢市の伝国の杜では、女優の藤原紀香さんを招き、避難者や住民と「復興のつどい・追悼式」が開かれました。



山形市会場

山形市では市役所前で追悼・復興祈願式後、文翔館では知事や市長、避難者のスピーチと、みつろうキャンドルでのキャンドルナイトが行われました。

復興ボランティア
支援センターやまがた



<http://www.facebook.com/fvsc.yamagata>



From 山形

寄稿 あいびい保育園 閉園



平成24年9月に開園した福島から避難している母子のための保育園が、この3月を持って閉園します。

開園の背景は、福島と山形との二重生活に経済的困難を感じた母親たちが立ち上がり、待機児童の多い山形市で安心して預けられる保育施設を作りたいと、認定NPO法人IVYへの依頼があったことがきっかけでした。

保育士の資格を持つ避難している母親たちが、子どもたちの健康や安全を考慮した保育内容、食事などを検討し手作りの保育園が始まりました。福島

ではできない外遊びを思いっきりさせてあげたいと、毎日のように山登り、川遊び、そり滑りとでかけました。ご近所の方とも顔見知りになり、また、学生ボランティアや、体操教室など多くの方が訪問し、子どもたちとたくさん触れ合ってくださいました。

そして、保育園に預けることでお母さんたちが積極的に就労し、自立しようとする必死に頑張る姿を見ることができました。見知らぬ土地に母子だけで生活する不安は計り知れません。それでも、子どもを守るお母さんの強さを感じざるを得ませんでした。

13人から始まった園児も延べ61人を数えました。閉園に伴い7割弱の園児が認可保育園や幼稚園、小学校へと進みます。福島に戻られる子どもたちもおります。皆さんどこにいても、ここで子どもたちを守ってきたことを誇りに、笑顔でいてくれることを祈っております。

あいびい保育園

プロジェクトマネージャー 今野 けい子

From 福島

復興へ歩む 南相馬市

3月1日 常磐自動車道路、浪江インターチェンジと常磐富岡インターチェンジ間が開通し全線開通しました。

相馬インターチェンジと南相馬インターチェンジの間に「南相馬鹿島サービエリア」が2月21日にオープン

ン。休憩所のほかに24時間営業のガソリンスタンドがあります。

物販観光施設「セテッテかしま」もゴールデンウィーク前のオープンを目指し建設が進んでいます。

国道沿いの商店は多くが営業を再開し、以前はから空きだった洋服店やスーパーの駐車場には沢山の車が駐車しています。

二年前は利用者の多くが工事業者だったホームセンターには、今は沢山のファミリーカーが停まり多くの人で賑わっています。

休業中が多かった車の販売店も再開し、南相馬市原町区や鹿島区は、すっかり日常の風景を取り戻しました。

小高区の南相馬市ボランティア活動センターの松本センター長は「少なくなった観光客やボランティアさんが、再び増えるのではないかと期待しています。」





慣れない雪かきで休日は一日中夫と白銀の世界…福島に居た頃はスノーボードを楽しんでましたが、今はわざわざ行く気が起きません。まあ、経済的！運動には変わらない！

(福島市→米沢市 30代女性)

あの震災からもう4年です。何の変化もない毎日ですが、2人の孫達の成長が何よりの楽しみです。

2月14日のバレンタインデーの日に5才になる孫娘から主人にプレゼントがありました。「じいじ、いつもありがとうございます」と孫娘。「ありがとう、ありがとうね」と笑顔の花が咲く。

心なごむ、うれしい一日でした。

(南相馬市→山形市 70代女性)

福島へ帰ってもう一年過ぎ、避難されていた方達とたまに会い交流をつづけています。

一人では答えのないなやみも、みんなに聞いてもらうことで、いつも勇気もらっています。問題もまだまだ多いですが、がんばってます！！

(伊達市→山形市 30代女性)

避難者がお金を出しあい、地域のイベント時に、地元の方々へふるまいができないか。感謝の気持ちをカタチにしてー！？どなたか企画を。

(南相馬市→南陽市 50代女性)

避難者の為のイベントに参加して、時々マナーの悪い方を見かけると同じ避難者として主催者の方に申し訳ない気持ちになります。時間を守らない余計なおしゃべりは社会人としても×ですよ。

(福島市→山形市 40代女性)



福島に戻って来てもうすぐ一年になるうとしています。米沢で仲良くなった友達もみんなそれぞれの避難元へ帰りましたが、たまにみんなで集まっています。同じ想いでいる仲間と出会えたので避難して本当に良かったです。

(伊達市→米沢市→伊達市 20代女性)

避難先から福島に戻って半年 やつと庭の片付けを始めました。除染していない自宅を少しでも綺麗にしたいです。

(伊達市保原町 40代女性)

介護補助員の講習とパソコンの講習を勉強して修了証書もらいました。社会貢献がしたいと思い前にむかって頑張っていきたいと思っています。

(二本松市→米沢市 渡辺美智子 60代女性)

山形、住みやすいです。今更放射線の事で悩むのかと思うと帰福は気が重いです…

(福島市→山形市 40代女性)

息子も小学校卒業…山形へ来て一番の喜びは息子が自分自身に自信がついたこと。たくましくなったこと。気の弱い子と思っていたのは親だけ…。これからも陰ながら応援してます。

(郡山市→山形市 40代女性)

「みんなの声」につぶやきを送ろう

<http://kizuna.yamagata1.jp/modules/ccenter/?form=2>



スマホや携帯でQRコードを読み取ってね

「みんなの声」大募集！！



避難している方、山形に避難していた方、想いを寄せている方など…みなさまの”つぶやき”を募集しています。

- ・こんな風に過ごしています。
 - ・良い事があった！悲しいことがあった…
 - ・こんな気持ちを抱えているの、私だけかな？
 - ・〇〇について、みんなどうしていますか？
 - ・誰に言えばいいのかわからないけど、とにかく言いたい！
- などなど、内容は何でも構いません。お気軽にお送りください。

- ①つぶやき内容、②ひなん元(市町村)、③ひなん先(市町村)、④性別、⑤年代 をお送りください。(②～⑤は任意です)

今のご住所、お名前、電話番号を別途記入いただいた方には、ささやかなお礼をお送りします。

住所、お名前、電話番号は紙面に掲載いたしません。

お送り先

(郵送) 〒990-2412 山形市松山3丁目14-69

復興ボランティア支援センターやまがた「みんなの声」宛

(メール) kizuna@yamagata1.jp 題名「みんなの声」

(FAX) 023-674-7312 題名「みんなの声」



みんなの声のバックナンバーはこちらから！

つながろうNET

<http://tsunagarou.net/>

「うるかむ」に掲載された今までの記事と、山形に避難されている方々に向けた各種情報を掲載しています。ぜひご覧ください。

[すべてのみなさまへご連絡]

■りとする福島 メールアドレス変更のお知らせ

事務局アドレスが以下へ変更となります

新アドレス→ littlefukushima@yahoo.co.jp

※旧アドレスへは3月20日をもって
停止となります。

※20日以降に旧アドレスへメール
をいただいても転送になりません
のでご注意ください。



■南相馬市ボランティア活動センター移転のお知らせ

南相馬市ボランティア活動センターは平成27年4月1日より南相馬市役所小高区役所南側の小松屋旅館別館に移転し活動を継続します。

屋内外の掃除、草刈り、伐採などのお手伝いができます。一時帰宅などでボランティアの手伝いを希望される方はご連絡ください。

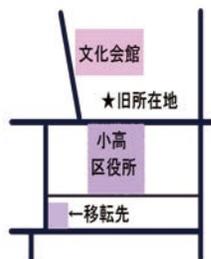
《新住所》

〒979-2124 南相馬市小高区本町2-5

TEL : 0244-26-8934

(水～日 9:00～18:00)

Blog : <http://ameblo.jp/v-home-net>



■～so-so volunteer～ 相双ボランティア

2011.3.11 東日本大震災、原発事故により、避難を余儀なくされた相双地区の住民の為に、地元の人間自らが立ち上がって活動し、人と人を繋いでいく任意団体です。困ったことがあれば、ご相談ください！

- 双葉郡を中心とする再編となった旧警戒区域での活動が中心。避難指示解除準備区域、居住制限区域、帰還困難区域、要請があればどこでもいきます。地元の相双地区の他、避難先など、何かの関わりのある地域を基本とします。
- 一般に線量が高いと言われてる場所であっても行きます。地域の復興よりも人としての復興をお手伝いします。
- 主な活動内容/旧警戒区域における、引っ越し、掃除、片付け、ゴミだし、修繕、草刈り、樹木伐採、ガレキ処理、ネズミとり、線量測定、一時期宅の送迎、相談、情報収集と拡散等、避難先でも同様。

【問い合わせ】

〒970-8026 いわき市平字三倉57-3 ホワイトビル101
相双ボランティア 担当：平山

TEL 0246-38-7512 FAX 0246-38-7513

E-Mail info@nomadic.to <http://sosovolunteer.com>

シアワセココロ しあわせココロのつくりかた (31)

カウンセラー・スピリチュアルケアアドバイザー 志村友理

今、飛行機に乗っています。機内誌に『仏教国ミャンマー』のことが掲載されているのですが、ちょっと素敵なのでご紹介。

仏教国ミャンマーでは、毎日功德が当たり前。では、功德とは何か…「善いことと思つてすれば、結果がどうあれそれは功德」と僧侶が書いていらつしゃる。なんてシンプル！
そういえば、子供は当たり前のようにしているのですよね。大人になり、複雑な世の中に生きているうち、善悪の判断を考え過ぎて、いつしか善いことを行おうという意思が薄れてしまったのかも。

善い行いをすれば、自分自身の心も晴れ晴れと喜ばしく感じます。

仏教国では、そこにお釈迦様が生きていらつしゃると思ひ、他の人と接すると。

『お釈迦様が見てくださる』『神様が見てくださる』そんな信仰心は、自らを清め、高めていくものなのでしょう。誰かに認めてもらいたい、誰かに褒めてもらいたいという欲求より、自分の行いを自身が認め、誇りに思えるよう、小さな善行を積んでいくことの方が、しあわせを呼ぶ力になりそうな気がします。



カウンセリング・ルーム メール相談 : ryokusuinomori@yahoo.co.jp

おすすめ情報

[村山地区]

■学習支援 寺子屋子ども大学

○対象：小学校2年生以上・中・高校生

○日時・場所：

4月12日(日) 学習支援

(9:30～11:30 真宗大谷派山形教務所)

4月26日(日) 特別授業「最上義光をたのしもう！」

(9:30～11:30 山形大学小白川キャンパス)

5月10日(日) 特別授業「ナスカの地上絵を体験しよう！」

(9:30～12:00 山形大学小白川キャンパス)

※開催場所・時間の変更もありますので、詳細はお問い合わせください。

○参加費：100円(保険代)

○締切：開催日の前々日
11:00まで

【申込・問い合わせ】

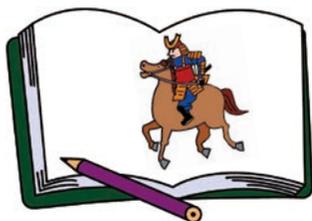
山形大学人文学部

松尾研究室

TEL・FAX：023-628-4917

メール：kmatsuo@human.kj.yamagata-u.ac.jp

※参加者名・学年・保護者連絡先(携帯電話番号)などをお知らせください。



[置賜地区]

■青空保育たけの子が引っ越します

いままでより広い施設。

米沢市内や福島市から近くなりました。幼児の保育、宿泊保養、農業体験などにご利用ください。

◎新住所 米沢市上新田 1166

(4月より)

◎連絡先 電話 080-3347-7126

NPO 法人 青空保育たけの子
(代表 辺見妙子)

◎ Blog :

<http://aozoratakenoko.blog28.fc2.com/>



[福島県からのお知らせ]

■避難農業者の一時就農支援策について

原発事故等で避難を余儀なくされている農業者がふるさとに戻るまでの間、避難先で一時的に営農を再開するための支援を行っています(県外へ避難されている農業者も対象)。

助成内容は、一農家当たり上限100万円(畜産経営を再開する場合上限150万円)で、営農再開初年度の初期生産資材の購入や施設・機械のリース、地代などに使用することができます。

【問い合わせ】

●県庁農業担い手課

☎024(521)7381

●県各農林事務所農業振興普及部

(営農相談窓口)

●震災時までお住まいだった市町村



■耕作放棄地を利用した避難先での農業の再開について

東日本大震災で避難されている皆さんが、福島県外を含む避難先などの耕作放棄地を利用して農業を再開する取り組みのほか、風評被害により耕作放棄地を利用して他作物に転換する取り組みなどを支援します(平成30年度まで事業延長されました)。詳細は、お問い合わせください。

◆事業内容

- ①耕作放棄地を再生利用する活動への支援
- ②施設などの整備への支援
- ③「実証ほ場」の設置による支援

【問い合わせ】

●県庁農村振興課 ☎024(521)7415

■山形県立図書館より寄贈のお願いとお知らせ

山形県立図書館では、震災の記憶を風化させることなく後世に引き継ぐため、震災・避難関連資料の収集に取り組んでいます。関連資料を発行された方はぜひ図書館にご寄贈ください。

○震災関連イベント・セミナー・相談会等のチラシやお便りや、個人・団体が作成した手記・文集など

○寄贈方法

県立図書館にご持参いただくか下記あてにお送りください。
閲覧用、保存用で2～3部をお願いいたします。

※詳細は、ご相談ください。

《展示のお知らせ》

「3.11を忘れない展示」

震災文学・被災地の今を伝える資料・山形のボランティア情報・被災各地の観光パンフレットなどを多数展示しています。

【問い合わせ】

山形県立図書館企画課 資料整備担当

〒990-0041 山形市緑町1-2-36

TEL：023-631-2523 FAX：023-625-6520



うるかむは各地に設置しています

【山形市】復興ボランティア支援センターやまがた/村山総合支庁/山形県庁1F/山形市内の公民館・コミュニティセンター/山形県立図書館/山形市避難者交流支援センター/山形市総合福祉センター/真宗大谷派山形教会/立石寺華蔵院/ままカフェ@home/福山ひろば/ふくしま子ども未来ひろば/あいびい保育園/りとの福島/山形市市民活動支援センター/チェリア/アンビランス/Hair with Water/生活協同組合共立社(CO-OP)(山形県内)/ハローワーク山形【天童市】願行寺【寒河江市】寒河江市社会福祉協議会/フローラSAGAE 1F/村山総合支庁西庁舎/寒河江市立図書館/寒河江郵便局/ゆ〜チェリー【上山市】上山市社会福祉協議会/上山市まちづくりセンター「ござってえ」/長屋門ギャラリー【東根市】東根市タントクルセンター/東根市社会福祉協議会【村山市】甌葉プラザ【米沢市】置賜総合支庁/米沢市役所1Fロビー/避難者支援センターおいで/万世コミュニティセンター/おいたまサロン・ふわっと/ハローワーク米沢【南陽市】南陽市社会福祉協議会【高島町】高島町役場1F/浜田広介記念館/永和軒【川西町】おきさぽ/おもいで館【鶴岡市】鶴岡市立図書館/フクシマの子どもの未来を守る家【酒田市】酒田市ボランティアセンター/酒田市公益活動支援センター/NPO法人にっこ/ハローワーク酒田【庄内町】庄内町社会福祉協議会【三川町】庄内総合支庁/イオンシネマ三川【新庄市】最上総合支庁【金山町】山形県遊学の森「木もれび館」【福島県】うつくしまNPOネットワーク/NPO法人福島ライフアイド/NPO法人シャローム/NPO法人ビーンズ福島/(一社)ふくしま連携復興センター/相双ボランティア準備室/南相馬市立中央図書館【宮城県】東北ろっけんパーク/ハート&アート空間「ピーアイ」【秋田県】道の駅せんなん【埼玉県】With you さいたま



ひと休み からかい煮

<材料>

からかい 150g
 酒 20ml
 砂糖 60g
 醤油 40ml
 みりん 大さじ2
 生姜の千切り 適宜

<作り方>

①ボールにからかいを入れ、たっぷりの水で二晩つけて戻して、食べやすい大きさに切る。
 ②水で戻したからかいを、鍋に移し多めの水で沸騰するまで煮たら火を止めて、お湯を捨てる。
 ③からかいがかわれる程度のだし汁を入れて煮る。沸騰してきたら酒、みりん、砂糖を加え20分程煮たら醤油を加えて、弱火で2時間煮詰めます。



レシピ提供：
 在来作物案内人 鈴木淳子さん

「からかい」とはエイを乾燥させたものです。からかい煮は冷めても美味しく日持ちがするため、盆や正月に食べられてきました。日本酒にもよく合います！

☆ブログ「鈴木淳子の楽しむ食育」もご覧ください♪

<http://ameblo.jp/hanamizuki-junko/>

団体紹介

山形避難者母の会



私たち「山形避難者母の会」は、2011年10月に福島県内から自主避難してきたお母さんたちが「ママの声を国や福島県に届けよう！」というミッションを持って立ち上げました。

2012年5月から山形市駅前に「村山地区ふくしま子ども未来ひろば」という避難母子のためのコミュニティサロンを立ち上げ、「未就学児の一時預かり支援」「ピアノ、ダンスなどの子どものための習い事支援」「避難母子のための交流支援」「広報誌 Ahaha(あはは)を通じた情報支援」などママたちから必要だと言われたことをひとつずつ形にしてきました。

あの震災から4年経った今、支援のニーズは少しずつ変化してきています。福島へ帰らざるを得ない方たちのために先に福島へ戻ったママが取材した福島の今を伝える情報誌「KURASSO(クラッソ)」を発行しました。冒頭に記されている、「避難し続ける、戻る、戻らない、あなたがあの時にした選択は全て正解。戻っても戻らなくても、福島はあなたの故郷であることには変わらない」というメッセージが。これは、山形避難者母の会が一番大切にしている理念です。

あの震災から4年経った今、支援のニーズは少しずつ変化してきています。福島へ帰らざるを得ない方たちのために先に福島へ戻ったママが取材した福島の今を伝える情報誌「KURASSO(クラッソ)」を発行しました。冒頭に記されている、「避難し続ける、戻る、戻らない、あなたがあの時にした選択は全て正解。戻っても戻らなくても、福島はあなたの故郷であることには変わらない」というメッセージが。これは、山形避難者母の会が一番大切にしている理念です。

**お問合せ
 はこちら**

山形避難者母の会 〒990-0044 山形市木の実町8-3 日本興亜山形ビル4F
 TEL 023-600-7167
 Email yamagatahinanhaha@gmail.com URL <http://yamagatahinanhaha.jimdo.com/>

支援センターのサイトをご覧ください→ <http://kizuna.yamagata1.jp/> **編集部より**

次号は4月15日発行です

情報提供や寄稿は、
 4月1日までにお願いします。
 お待ちしてまーす！

避難者向けフリーペーパー「うえるかむ」

発行元：つながろう！ささえあおう！
 復興支援プロジェクトやまがた
 〒990-2412 山形県山形市松山三丁目14番69号
 「復興ボランティア支援センターやまがた」
 TEL 023-674-7311 FAX 023-674-7312
 E-mail kizuna@yamagata1.jp
 WEB <http://kizuna.yamagata1.jp/>



*「ありがとう」の反意語は「あたりまえ」だそう。日常が「あたりまえ」じゃない事を知った4年前。振り返り、今の日常に「ありがとう」を積み重ねていきたいと思えます。(ただ)

*放射線を心配しながら福島で生活を続けるお母さんの表情を見て「この方達の力になりたい」と思いました。(くまもん)

*3月ってこんなに寒かったかな、と毎年思います。4年前も寒かったな(サチ)

*時が進んでいます。今を大事に、心を満たしていきたいな。(くり)

*まったく同じ前例なんてないのだから、新しい形を生み出すしかない。ということ、各地で湧き上がるいろいろな取り組みがすぐてワクワクするこの頃です。(海)